

ユネスコ無形文化遺産と 民俗

関西学院大学先端社会研究所・関西学院大学共催
(2016年度 第3回 院生企画研究会)

2017年3月27日(月)
14:00-17:00(13:30-受付開始)
関西学院大学社会学部棟3階
セミナールーム
一般公開・事前申込不要・入場無料

「本報告では、ユネスコの理念や政治性、直近10年あまりの無形文化遺産をめぐる我が国の動向、そして文化財保護行政の変遷を踏まえて、今後、パブリックセクターに民俗学がどのような役割を果たすことが可能なのかについての議論の素材を提供したい。」

—報告要旨より

【報告者】 村上忠喜氏 (京都市歴史資料館)

1960年、京都府生まれ。

1991年、佛教大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。

現在は、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課所属。

専門は、日本民俗学、民俗建築、ラテンアメリカ研究等。



研究会についての問い合わせは、dkv99078@kwansei.ac.jp
関西学院大学大学院 谷岡まで